２０１４年　レフリングの指針

平成２６年６月

JRFU　審判委員会

レフリング指針

1. 安全を優先するレフリングの実践

2. フェアーなコンテストの遂行

3. 継続性のあるプレーの推進

活動スローガン

（ Coordination ）

「協調」

レフリング目標

1. 安全性を最優先したレフリング
2. 危険なプレーに対しての厳格な判定
3. 安全かつコンテストを考慮したスクラムコントロール
4. フェアーなコンテストを伴ったラインアウトプレーのコントロール
5. フェアーなコンテストを考慮したブレイクダウンの判定およびプレーの継続の判断
6. フェアーなコンテストにつながる攻撃及び防御スペースの確保
7. プレーの継続性につながる効果的なアドバンテージの適用と明確な解消
8. マッチオフィシャル間の連携機能の強化

重点項目

1. 危険なプレーに対する厳格な基準の適用
2. 安定したスクラム形成の維持
3. ラインアウトのフェアーなコンテスト及び離脱の確認
4. タックルシチュエーションの優先順位に基づく判定
5. ラック＆モールのオフサイドの正確な判定
6. オープンプレーにおけるキックオフサイドの正確な判定
7. カテゴリーを考えたアドバンテージの適用と明確な解消
8. マッチオフィシャルの協力によるゲーム運営の強化

レフリングガイドライン

タックル

タックルの判定

1．タックルの判定の優先順位は、
①タックラーとアシストタックラー

②タックルされたプレーヤ

③アライビングプレーヤー

でありタックルの成立とそれぞれの義務行為をレフリーは段階的に確認する。

タックラー

1．タックラーは、

①タックルされたプレーヤーとボールを直ちに離す。

②立ち上るか、タックルされたプレーヤーとボールから直ちに離れる。

③立ち上がった後は、ラック形成前であれば、どの方向からボールをプレーしてもよい。

2．アシストタックラーは、

①タックルされたプレーヤーとボールを放す。

②その後、ボールの後方、かつ、自陣ゴールライン側に近い側のタックルされたプレーヤーまたはタックラーのいずれかの真後ろからプレーする。

レフリーは、タックラーの義務行為を確認する。

タックルされたプレーヤー

1．タックルされたプレーヤーは、

①直ちにボールをプレーできるようにする。
ボールをリリース（パス　放す　置く　など）する。

②相手側がボールを獲得するのを妨げてはならない。
ex.ボールのリリースを遅らせるためのボディーポジション
でボールを覆う。（スクイーズボール）

レフリーは、タックルされたプレーヤーの義務行為を確認する。

アライビングプレーヤー

1．アライビングプレーヤーは、

①ボールの後方、かつ、タックルされたプレーヤーまたは、タックラーのどちらかで、自陣ゴールラインに近い方のプレーヤーの真後ろからプレーする。

②立って（足以外の体の部位が地面または地上に横たわっているプレーヤーにもたれかかっていない状態）プレーする。

レフリーは、アライビングプレーヤーの義務行為を確認する。

タックルのマネージメント

1. レフリーは、

①フェアーなコンテストを妨げるプレーの的確な判定を行う。
ボールの継続可能の状態を判断しプレーを継続させる。

②質の高い判定のために、タックルとボールの状況を確認
できるポジショニングをする。

③わかりやすいシグナルやプリベントコールにより、
プレーヤーと良好なコミュニケーションを行う。

スクラム

ELVスクラムエンゲージメントプロセス

1. ELVスクラムエンゲージメントプロセスを適用する。

2. ELVスクラムエンゲージメントプロセス導入の理由を考慮し、
プレーヤーの安全を最優先してスクラムのエンゲージを行う。

レフリーは、
安全を損なうスクラムエンゲージについては厳格に判定する。

3. スクラムのコールは、「クラウチ」「バインド」「セット」である。
3段階のコールはそれぞれのコール前の準備状態を確認
した後にコールする。

クラウチ

1. レフリーは、

①マークを示す。

②それぞれのチーム同士のプレーヤーのバインドを確認する。

③「クラウチ」をコールする。

④その後、両フロントローの姿勢と「ear to ear」の間隔を確認する。

バインド

1. レフリーは、

①クラウチの状態を確認する。

②「バインド」をコールする。

③コール後は、バインドの位置を確認する。

（1） LHプロップは、肩や腕ではなくボディーにロングバインドをする。

（2）THプロップは、背中や脇にバインドするかそれ以上のボディーへのロングバインドをする。

④「セット」コールの前にプロップは相手にもたれかからない。

セット

1. レフリーは、

①バインドの状態を確認する。

②「セット」をコールする。

③セット後は、両フロントローの自立と安定、ステップを確認する。

ボールの投入

1. レフリーは、

①「セット」後のスクラムの安定状態を確認する。

②スクラムハーフの位置を確認する。

③ボール投入の合図をSHにする。

④合図の後、ボールの投入を確認する。

スクラムのコンテスト

1．レフリーは、

①ボール投入前のコンテストを確認する。

②ボール投入後に、フェアーなコンテストが行われているかを確認する。

③スクラムに参加しているプレーヤーのスクラム終了までのバインドを確認する。

ラインアウト

ラインアウトの形成

1．レフリーは、ラインアウト開始前に、

①ラインアウトに参加するプレーヤーの人数を確認する。

②ラインアウトに参加するプレーヤーの位置を確認する。
＊特に、レシーバーとボールを投入する相手側のプレーヤー

ラインアウトのコンテスト

1．レフリーは、ラインアウト開始後に、

①フェアーなコンテストが行われているかを確認する。
特に、ジャンパー及びサポートプレーヤーへのチャージなど危険なプレーを確認する。

②モール形成時のコンテストについて、オブストラクションプレーを確認する。

③ラインアウトでのモール成立・不成立を判断する。モール形成後のコラプシングを確認する。

ラインアウトの15mを越えるオフサイド
ラインアウトからの離脱

1. レフリーは、ラインアウト開始後に、

①ピールオフプレーを確認する。

②15mラインを超えるオフサイドの位置へのプレーヤーの移動を確認する。

③自陣ゴールライン方向への離脱を確認する。

Law19.14(e)　PK

ラック

ラックの形成時

1．レフリーは、

①ラック形成とタックルオンリーの状態を確認する。

②ラック形成時のフェアーなコンテストを確認する。
特に、危険なプレー、プレーの継続を妨げるプレーに対しては厳格に判定する。

ラック形成後

1．レフリーは、

①ラック形成後は、プレーヤーの参加を確認する。
特に、危険なプレー、プレーの継続を妨げるプレーに対しては厳格に判定する。

②ラック形成後、攻撃と防御のスペースを確認する。
オフサイドプレーヤー、ラックへ参加しているまたは参加するプレーヤーのプレー、離れたプレーヤーの行為を確認する。

ラックからのボールアウト

1. レフリーは、

①ラックの終了とその後のプレーを確認する。

② ラックの中のボールをスクラムハーフまたは他のプレーヤーが持ち出した時ラックは終了する。

モール

モール

1. レフリーは、

①モール形成の状態を確認する。

②モール形成後は、コラプシングなどの危険なプレー、プレーの継続を妨げるプレーに対しては厳格に判定する。

③モール形成後、正しくコンテストが行われるか判断するために、オフサイドプレーヤー、モールへ参加している、または、参加するプレーヤーのプレー、離れたプレーヤーの行為の確認を行う。

オープンプレー

キック

1．レフリーは、

①キッカーの前方にいるプレーヤーを確認しコントロールする。

②キック時にボールを追いかけるプレーヤーへのオブストラクション、ボールをキャッチしようとするプレーヤーをプロテクトする行為を確認する。

オブストラクション

1．レフリーは

①オープンプレー時のオブストラクション行為を確認する。

特に、ボールキャリアーの前方にいるプレーヤーの行為を確認する。

ハンドリングエラー

1. レフリーは、

①ノックオンの正確な判定のできるポジショ ンニングをする。

②スローフォワードの正確な判定のできるポジショ ンニングをする。

危険なプレー

1. レフリーは、

①安全性を最優先したゲームコントロールを行う。

②危険なプレーに対しては一貫性を持って厳格に対処する。
特に、リフトタックルは厳格な基準で判定する。
空中にいるプレーヤーへのタックルに対しても厳格に判定する。

マッチオフィシャルの連携機能の強化

1．レフリーとARは、

①試合前に、レフリーとARのミーティングを実施する。
（1）レフリーは、ARにポジションや具体的なサポート項目を指示する。
（2）ARレポートの手順を確認する。
（3）不正なプレー・不当なプレーに関して、レフリーとARがお互いの基準を事前に確認する。
②試合後に、レフリーとARのミーティングを実施する。

2．ARは、果たすべき役割とレフリーサポートの優先順位を明確にして任務する。
＊TJも職務の範囲内で連携機能を強化する。

ゲームマネージメント

1. クリアーなシグナルを用いる。

2. 簡潔でわかりやすい説明（Law bookの用語を用いた）をする。

3. 明確なアドバンテージコールとシグナルを適用する。

4. マッチオフィシャルの協力によるスピーディーなゲーム運営をする。

最後に

安全性を最優先し、よりスピーディーかつ質の高い継続性のあるゲームを創り出すために、マッチオフィシャル、プレーヤー、コーチが協力してゲームを運営していかなければならない。

　ゲームに参加するすべての人々が、ラグビーのゲームの原則を考慮し、レフリングの指針を適用し、協調性を持ってゲーム運営を行うことによって、我が国のラグビーは発展する。